

三浦半島地域で安心して働き・暮らせる街づくりを

目指して、政策・制度4市1町首長意見交換会を開催！



『三浦半島地域連合 政策・制度首長意見交換会』を、11月6日（水）17時から『KKR逗子松汀園』にて開催しました。

冒頭、今井議長代行から、4市1町首長へ日頃の協力への御礼と、労働者の意見を反映した政策・制度実現に向けたお願いをしました。また、連合神奈川萩原副事務局長からは連合神奈川の政策・制度要求と提言の説明などの後に意見交換会をスタートしました。

意見交換会では①4市1町広域連携②バス減便対策③国道134号渋滞対策などを中心に約1時間30分に渡り議論しました。

三浦半島地域連合の政策・制度には国や神奈川県に関わる項目も多いために、三浦半島地域連合議員団から無所属の近藤大輔・永井真人各神奈川県議会議員にも参加頂き、神奈川県としての取り組みやバックアップなどのご意見も頂きながら、三浦半島地域で安心して働き・暮らせる街づくり実現について熱い議論を展開しました。

今回の意見交換では4市1町が横須賀市を中心に防災をはじめとした様々なことにおいて連携強化をしていくことが確認出来ました。バス減便や国道134号については体制自治体としては様々な対応はしているものの、今本的な解決は難しいながら、今回の意見交換を参考に12月末に回答を頂くこととしました。

今後も4市1町の首長との連携を大切にしながら、働く人の意見を届け、この三浦半島地域で安心して、働き・暮らせる街づくりを進めていきます。



前列左から、萩原副事務局長・永井県議会議員・三浦吉田市長・鎌倉松尾市長・葉山山梨町長・横須賀上地市長・逗子桐ヶ谷市長・今井議長代行・近藤神奈川県議会議員
後列左から椿事務局次長・内田副議長・許斐副議長・篠原事務局長・磯部副議長・山田副議長・仲副議長・中澤事務局次長・長下部事務局次長